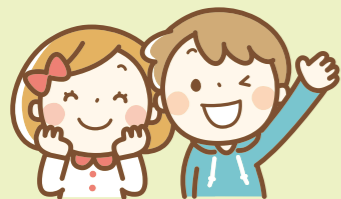


## 栗原俊二議員のおもな質問内容と答弁(抜粋)

### 子どもの未来を応援する施策の推進について

**問** 知事に再選され新たな取り組みに向けた検討が行われていると思うが、子どもの未来を応援する施策やそのための組織体制などについてどのように取り組もうとしているのか。

**答** 次世代を担うすべての子どもたちが生まれ育った環境に左右されることなく必要な知識や能力を身につけられるよう支援する必要がある。このため福祉、教育、労働など幅広い分野の施策を重層的総合的に推進する観点から新たな推進体制について検討し誰一人として置き去りにしない政策の推進に取り組む。



### 災害に強いまちづくりについて

**問** 7月の梅雨前線豪雨により県内では急激な増水により多くの河川で氾濫の危険性が生じた。水位計が設置されていない河川では水位の状況把握が難しかったことから、このたび県内96か所に新たに水位計が設置されることになった。今後の河川監視体制の充実強化について伺う。

**答** 今回の96か所は過去に浸水が生じた箇所や、市役所などの重要な施設が浸水する恐れがある箇所などを選定した。今後も設置の必要性を精査し優先順位の高い箇所から順次設置を進める。

### 高齢者の運転免許証の更新等について

**問** 運転免許更新における高齢者講習は事務作業の煩雑さなどもあり教習所の受け入れが制限される状況にある。今後の高齢ドライバーの急増を踏まえた認識と対応について伺う。

**答** 高齢者講習は県内各地の教習所に委託して実施しているが新規免許取得者が増加する時期は予約が取りにくい状況にある。また、講習実施に係る事務負担が増加しているためその軽減に努めるとともに繁忙期における県運転免許センターでの講習受入れの拡大を要請するなど円滑な実施を図っていく。

### 広島県独自の平和賞創設について

**問** ノーベル平和賞と同様に、広島県の観点から、核兵器廃絶や平和構築に貢献した人物や団体を表彰する新たな『ピースアワードHIROSHIMA』を創設してはどうか。原爆慰霊碑前での受賞者スピーチや関係者を交えた国際会議などを行って情報発信していくことは、広島から核兵器廃絶や平和構築を推進していくための有効な取り組みとなる。

**答** 新たな平和賞創設は意義深い取り組みと考える。今後、被爆地・広島として、ふさわしい平和賞のあり方などについても研究していく必要がある。こうした取り組みを通じた発信力強化を図り、広島国際平和への拠点性向上につなげたい。



### ヘルプマークの普及啓発の推進について

**問** 平成24年に東京都からスタートしたヘルプマークが、広島県でも導入が決定し配布が始まった。ヘルプマークを広めていくには、まずは全ての県民に対してマークの意味やマークを持った人への対応などについて知ってもらうための取り組みを進めることが何よりも重要であると考えているのか。

**答** ヘルプマークの導入に当たっては本県のホームページや障害福祉関係会議などにおいてマークの周知を行うとともに市町にも周知の協力を依頼して住民への普及啓発を行っている。今後は県の広報番組でのお知らせや社会福祉団体や交通事業者と提携し、啓発ポスターの配布や車内ステッカーの表示などを行う。引き続き様々な広報媒体を活用しマークの普及促進に取り組む。



ヘルプマークの啓発ポスター



# 県議会公明党ニュース

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：栗原俊二  
住所：広島市中区基町10-52 連絡先：082-513-4660 s-kurihara@gikai.jp/hiroshima.jp

2018年 春号

<皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。>

## 栗原俊二議員が12月定例県議会で一般質問

広島県議会は12月定例会を昨年12月7日から12月18日まで12日間の会期で開きました。12月11日には県議会公明党の栗原俊二議員(広島市安佐南区)が、県政の諸課題について一般質問を行いました。

栗原俊二議員は以下の項目について質問しました。

- ①子どもの未来を応援する施策の推進について
- ②災害に強いまちづくりについて
- ③がん対策の強化について
  - ・がん教育の推進について
  - ・小児がん対策について
- ④高齢者の運転免許証の更新等について
- ⑤ヘルプマークの普及啓発の推進について
- ⑥損壊した太陽光パネルへの対応について
- ⑦地方自治体の公共データのオープンデータ化について
- ⑧核軍縮の実質的な進展に向けた取り組みについて



政策課題に対し県の姿勢を問う栗原俊二議員(12月11日)



湯崎県知事の答弁を聞く栗原俊二議員

今回の定例会では「平成二十九年度広島県一般会計補正予算」や「警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例の一部を改正する条例」、九月定例会から継続審査としていた「平成二十八年度決算認定」などの議案について審議を行い、33議案について原案の通り可決・認定並びに同意しました。

最終日には議長選挙を行い、山木靖雄新議長を選任したほか、議員定数等調査特別委員会を設置し、栗原俊二議員が会派を代表して委員になりました。

# 栗原俊二議員の活動紹介

公明党広島県議団  
フォトニュース

## 実績紹介

### 国道路砂崩れ箇所が開通

29年2月、北広島町細見の国道186号線で土砂が崩れ、全面通行止めとなった現場を確認し、県知事に対し早期復旧を求める要望書を提出しました。

30年1月、全面通行可能となりました



### 交差点に信号機新設 (安佐南区山本7丁目)

道路の新設により、危険度が増した交差点に信号機が設置されました。

地域住民から安全対策の要望が多く寄せられており、再三当局に要望していた交差点です。



### インフルエンザの受験生、公立高校入試で追試可能に!

県内の公立高校の一般入試でインフルエンザなどで受験できない生徒を対象に追試験を認めることになりました。



### ヘルプマークの周知徹底が前進



このマークを見かけたら席をゆずるなどの配慮をお願いします。  
If you see someone with this symbol, please offer them your seat.  
県内各人工関節を使用している方、内臓障害や聴覚障害など、外見からは分からなくても障害などにより移動や配慮が必要な方が身につけるマークです。  
Some people have disabilities and conditions that may not be easily noticeable. Ask for wheelchair access or other help. This symbol indicates that the person may need extra assistance and consideration due to disability.  
ヘルプマーク  
広島県障害者支援課 電話082-513-2157

## 県議会総務委員長に就任

(任期：29年6月～30年6月)

栗原俊二議員は29年6月定例県議会で総務委員長に就任しました。

総務委員会は県議会常設の6つの委員会のひとつで議員は必ずいずれかの委員会に所属しています。議会開催中は本会議に提出された議案などを審査・調査します。

議会閉会中においても、月1回程度、担当する行政施策の審査・調査を行います。

## 定例開催の総務委員会で議事進行



## 総務委員会県外調査

●29年10月



阪南市役所 (大阪府)



吹田サッカースタジアム (大阪府)



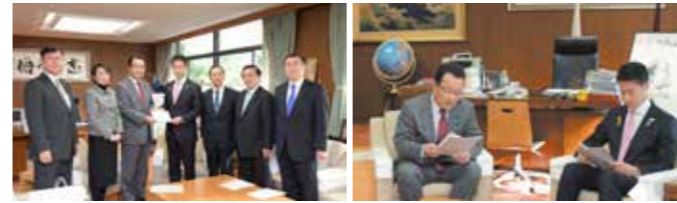
理化学研究所計算科学研究機構 (神戸市)

## 活動報告

### 平成30年度予算編成に対する要望書提出

●12月15日

公明党広島県議団は湯崎英彦知事に対して平成30年度予算編成に向けた要望を行いました。重点要望項目として子どもの貧困対策や学びのセーフティネット構築などを盛り込んだ「子どもの未来を応援する施策」の充実を強調。また核軍縮、国際平和の推進へ一層の取り組みを強く求めました。



### 広島県医師会と政策勉強会

●2月1日

県医師会館を訪れ、「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」の推進などについて榎谷義美副会長らと意見交換を行いました。



いただいた要望等は今後の議会質問や予算要望などを通じて県に訴えていきます。

### 県営緑丘住宅復興支援イベントに参加した湯崎県知事に同行

●29年8月



### 県営緑丘住宅・小原山地区 8.20 土砂災害追悼式

●29年8月



## 政策実現へ活発に研さん

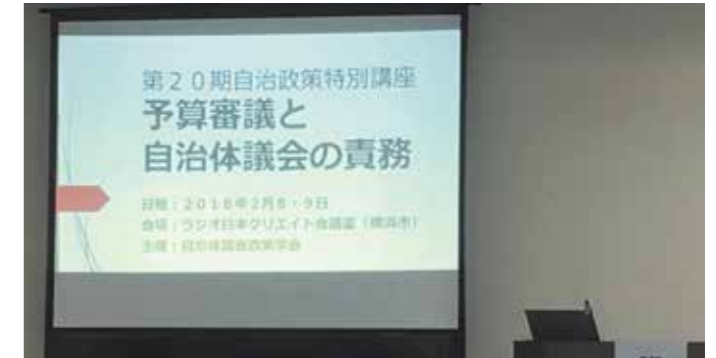
### 30年度事業案を執行部から聴取

●30年1月



### 政策勉強会を受講 (横浜市)

●30年2月



### 子育て支援施策について調査

●29年5月・荒川区役所



### 新たな公設掲示板設置事業を視察

●29年1月：鹿児島市



### イノベーション・ハブ・ひろしま Camps(キャンパス)を訪問

●29年6月

